



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年8月27日 第9号 文責 梶原 圭一



前期後半が始まりました

39日間という長い夏休みが終わり、本日から前期後半が始まりました。夏休みに入る前に「自分に、家族や友だちに、そして地域に思いやりのある楽しい夏休みにしましょう」と話をしましたが、子どもたちは、夏休みをどのように過ごせたでしょうか。猛暑続きの毎日で、外で思いっきり遊ぶということは難しかったかもしれません。また、県内では8月10日未明からの記録的な大雨による災害も起こり、今もなお復旧作業が続いています。被害に遭われたすべての方々にお見舞いを申し上げるとともに、本日前期後半がスタートできることへの感謝の気持ちを大切にしたいと思います。

前期後半は、10月10日(金)までの31日間となります。前期後半を始めるにあたり、全校集会で子どもたちに向けて、頑張ってほしいことや大切にしてほしい心などについて話をしました。夏休み期間中に私の心に残った言葉も紹介しました。8月6日(水)に、広島市で行われた平和記念式典で2人の6年生が「平和への誓い」を述べる姿をテレビで視聴しました。子どもたちの堂々とした発表態度も素晴らしかったですが、次のような言葉が心に響きました。

・・・多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずです。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。・・・(広島平和記念式典小学生「平和への誓い」抜粋)

世の中の情勢に目を向けると、昨今自分の都合ばかりを主張し、相手の立場や考えも聞き入れずに傷つけたりするような出来事も見聞きするようになってきました。互いの違いを理解し合い、相手の気持ちを考え、思いやりの心をもって課題の解決に向けて話し合うことができる力を伸ばしていかなければならないと改めて感じました。

前期後半に頑張ってほしいこととして、子どもたちに育てたい3つの力である「**自ら考え行動する力**」「**思いを伝え合う力**」「**粘り強く取り組む力**」を基に、具体的な姿を示しながら、子どもたちの成長への期待を話しました。それぞれの姿に共通する部分として、「**聴く力**」を高めていくことが必要となってきます。友だちや先生、地域の方々の話をしっかりと**聴く**ことは、課題を考えたり、その時々言動を判断したり、よりよい生き方へと行動に移す上で何より重要な要素となります。夏休み中に先生方と行った研修の中でも、学習の基礎基本として、授業の中で力を入れて取り組んでいくことを共通理解しました。

前期後半も、子どもたちと共に、笑顔あふれるみんなの学校を創ることを目標に頑張っていきたいと思います。

◆イングリッシュ・デイキャンプ◆

8月21日(木)に、5・6年生を対象に「イングリッシュ・デイキャンプ」が行われ、本校からも20人ほどの子どもたちが希望し、参加しました。様子を見せてもらいましたが、すべて英語で活動が進められていました。そのような中でも、子どもたちはすぐに順応し、グループワークを楽しんでいる姿に感動しました。昨年も感じましたが、このような環境の中で学ぶ機会がある子どもたちは、本当に幸せだと感じます。コミュニケーション能力をさらに磨き、世界で活躍する人材へと成長してくれることでしょ。

◆美化作業、お世話になりました◆

8月23日(土)に行われた美化作業では、多くのPTAサポーターの方に草取りや窓ふき等を行っていただきました。気持ちよい環境の中で、子どもたちが前期後半を迎えることができました。心より感謝申し上げます。



<今後の主な予定>

9月19日(金) オープンスクール
10月10日(金) 前期終業式

9月25日(木) 不審者対応避難訓練
10月16日(木) 後期始業式